

日本母子ケア研究会 第15回記念学術・実践報告会のご案内

テーマ

『看護の視点から考える母乳育児支援』

～苦痛を与えていませんか～

教育講演

『愛着の絆を深める、妊娠・出産・育児の支援』

～専門職の貴い役割～ ヘネシー澄子先生

日本母子ケア研究会は、「ラクで楽しい母乳育児」をめざし、母乳育児に関わる様々な問題を実践報告会で取り上げ、看護者としてのその解決法について探求しています。

第15回学術・実践報告会では、アメリカ在住のソーシャルワーカーで、日本の福祉教育にも携わってこられた、ヘネシー澄子先生をお招きします。

先生には母子の愛着形成について、また被虐待者であったお母さんとのかかわり方などについてお話しいただきます。

午後のシンポジウムでは、「看護の視点から考える母乳育児支援」をテーマとします。母乳育児を望んでいるにもかかわらず、様々なトラブルに苦しむ母子の問題を解決し、楽な母乳育児ができるように支援したいと、日々試行錯誤しながら母乳育児支援に取り組んでいますが、時には、母親に苦痛を与えるケアになっていることがあります。苦痛を与えないケアについて、発表やディスカッションを通して学びを深めたいと思います。

さらに、今回は第15回の学術・実践報告会をいうことで、記念の事業も計画しています。

是非、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

日本母子ケア研究会会長 伊東厚子

日時	平成26年6月22日(日)AM10:00～	AM 9:40～ 開場・受付 AM10:00～ 開会
会場	横浜市桜木町 はまぎんホール ヴィアマーレ	
対象	看護師・保健師・助産師等医療従事者, 母子支援に関わる専門職者	
参加費	事前申込【6/13日(金)まで】 ¥10,000(年会費込) ※当日参加 ¥12,000(年会費込) 6/14日(土)以降の申込については当日扱いとなります。 詳細は裏面(P,4)「申し込み用紙」をご参照ください。	

【プログラム】

10:00 会長挨拶

10:10 ◆教育講演

～
12:00 「愛着の絆を深める、妊娠・出産・育児の支援」

～専門職の貴い役割～

クロスロード・フォー・ソーシャルワーク社 所長

臨床ソーシャルワーカー / 社会福祉学博士

東京福祉大学名誉教授 / 関西学院大学客員教授

ヘネシー澄子先生

【プロフィール】

東京外国語大学仏語科卒業後、ベルギーとアメリカに留学。ニューヨークのフォーダム大学で社会福祉学修士号を、コロラドのデンバー大学で博士号を獲得。40年弱のソーシャルワークキャリアをアメリカで積んでH12年引退。新制の東京福祉大学で実習担当主任教授として日本に単身赴任し、教鞭をとりつつ福祉現場実習全体の指導にあたるほか、日本各地で福祉の多分野にわたる講演や、事例研修会を行った。H16年3月に帰米、コロラド州オーロラ市に在住し、アメリカの最新援助技術を日本に紹介するクロスロード・フォー・ソーシャルワーク社を夫と共に立ち上げ、日本の児童福祉や精神保健に携わる人達の研修を日・米両国で行っている。トラウマ急性期治療と心的外傷後ストレス障害治療を専門とし、コロラド州臨床ソーシャルワーカー（LCSW）と、アメリカ EMDR（眼球運動による脱感作と再処理法）の有資格者である。

現在の日本の児童福祉の課題を虐待予防と愛着関係修復におき、ヘルシー・ファミリーズ・アメリカ（HFA）の、親の長所に焦点を当てた育児支援の家庭訪問を日本に紹介することとコロラド州エバーグリーン市のアタッチメント・トリートメント・エンド・トレーニング・インスティテュート（ATTI）の修復的愛着療法の技術の紹介に励んでいる。

また、ベッセル・ヴァン・デ・コーク博士の率いるボストントラウマセンターで、虐待や一貫した保護者が無かったことで起こる「発達途上のトラウマ障害」を受けた子供たちの治療の研修と、愛着・自己調整・発達段階能力（ARC）の概念を実践している治療施設の見学ツアーも毎年行っている。

著書に反応性愛着障害を書いた「子を愛せない母・母を拒否する子」（学研社/H16年）、脳から見た子供のトラウマ障害を書いた「気になる子・理解できる・ケアできる」（学研社/H17年）がある。

12:00～12:15 ◆総会

12:15～13:45 ◆昼休み

13 : 45

◆シンポジウム

～

15 : 00

テーマ

「看護の視点から考える母乳育児支援」～苦痛を与えていませんか～

コーディネーター 伊東厚子

はじめに【苦痛を与える授乳指導を受けたお母様たちの声】

「勘違いが生んだ苦痛を伴うおっぱいケア」

ワイズレディスクリニック 松田真帆

痛くないおっぱいケアについて学ぶまでは「おっぱいを吸われるのが辛い」「マッサージは痛かった」という声を聞いても、多くの人を通る登竜門であると捉え、何ら違和感を覚えなかった私。それまでに会ってきたママ達の「痛くても仕方がない」「ここを乗り越えれば!」という声が耳に残り、いつしか私は「痛みの先においしいおっぱい有り」と思うようになりました。痛い授乳やマッサージはよくあることという視点を、何かが違っていると変えた時に、ママ達の楽しい育児へのサポーターへと近づけた気がしました。

【プロフィール】

H10 獨協医科大学附属看護専門学校卒業 / 獨協大学越谷病院消化器外科病棟勤務

H16 埼玉県立大学看護学部卒業 / 前橋赤十字病院産婦人科病棟勤務

H18 ワイズレディスクリニック勤務 現在第3子の育児休暇中

看護師・保健師・助産師

「いつの間にか『痛くないケア』になった」～吹田市民病院でのケアの変遷～

吹田市民病院産婦人科病棟 岡島崇美

就職して10年間痛いケアも仕方がないと思ってやっていたのですが、母子ケア研究会に出会って考え方が変わりました。日本母子ケア研究会のセミナーで教わったケア方法を自分でやってみたい。効果が出ると皆に教えたくてしょうがない。周りも知りたくてしょうがない。こんな感じでなんとなく、痛くないケアが広まりました。

【プロフィール】

S63年市立吹田市民病院産婦人科勤務 その後小児科、耳鼻科、内科病棟、内科外来勤務を経て

現在ベビー室（分娩・褥婦・新生児）勤務

助産師

「苦痛を伴うケアから、痛くないケアを目指して」

ひかり助産院 森田美代子

苦痛を訴えるお母さんを、「乳房マッサージで、すぐに楽にしてあげたい」と思い、乳房だけに目を向け行ったマッサージで、かえって苦痛を増強させてしまっていました。母子ケア研究会に参加し、ケアの考え方の基本を学び、実践報告を聞くことで、楽しい母乳育児のお手伝いが少し出来るようになりました。まだ、痛くないケアを身に着けている途中ですが、今私が実施しているケアについて、お話しさせていただきたいと思います。

【プロフィール】

茨城県立中央看護専門学校助産学科卒業

神栖（旧波崎）済生会 / 銚子市立病院 / 嶋田総合病院勤務

H21年母乳育児相談で助産院開設 / 新生児訪問 / クリニック勤務

助産師

15 : 00 ～

◆ディスカッション

16 : 00

◆閉会

①FAX または郵送・メールにてお申込ください。(お一人様 1 枚でご記入願います。)

【ご郵送の場合】

〒399-4117

長野県駒ヶ根市赤穂 8754 株式会社日本創健内
日本母子ケア研究会事務局宛

【メールの場合】

boshicare@n-souken.co.jp に下記内容をご記載の上
ご送信ください。メール確認後、事務局より返信メール
を送らせて頂きます。

※25 年度会員様は、会員番号をご記入ください。②については、ご記入不要です。(但し、ご住所などの変更があった場合にはご記入ください。)

ふりがな お名前	25 年度会員番号 No.	メールマガジン配信希望	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない
		Eメールアドレス		

②新規会員様は下記内容をご記入ください。(お一人様 1 枚でご記入願います。)

ご自宅ご住所 〒 -	TEL	
	FAX	
所属先 (勤務先)	資格	助産師・看護師・保健師 医師(小児科、産科、他)・その他()
所属(勤務先)ご住所 〒 -	TEL	
	FAX	
郵送物のお届け先	<input type="checkbox"/> ご自宅	<input type="checkbox"/> 勤務先

※チェックが無い場合には、ご自宅へご郵送させていただきます。

③日本母子ケア研究会 H26 年度会費について

会費のお支払いについてご記入ください。(第 15 回学術・実践報告会参加費と一緒に支払頂くことも可能です。)

H26 年度年会費支払済のため参加費のみ H26 年度年会費 + 参加費

◆参加費・年会費のお支払い方法について◆

郵便口座 00580-1-72806
口座名義 日本母子ケア研究会
※通信欄に第 15 回学術・実践報告会参加費と明記してください。

【参加費・年会費】

参加費のみの方(会費事前入金済) 5,000 円
年会費 + 参加費の方 10,000 円

参加費をお振込み頂きましてお手続き完了となります。

※当日、会員証を必ずご持参ください。

※参加費をお振込み頂きました方には 6/2 日より随時「入金確認ハガキ」をお送り致します。
このハガキを参加証と致します。(ハガキを紛失された方は、振込用紙の控えをお持ちください。)
6/10 日以降で入金後 1 週間経過してもハガキが届かない場合は、事務局までお知らせください。

会場案内

はまぎんホールヴィアマーレ

- ・ JR 線 / 横浜市営地下鉄 [桜木町駅] より歩く歩道利用、徒歩 5 分
- ・ みなとみらい線 [みなとみらい駅] より徒歩 7 分

◆新幹線ご利用の場合

JR 新横浜駅～(JR 京浜東北線)～JR 桜木町駅(約 15 分)→
横浜市営地下鉄 [新横浜駅]～横浜市営地下鉄 [桜木町駅](約 15 分)
→歩く歩道利用、徒歩 5 分



《お問い合わせ先》日本母子ケア研究会事務局 メール: boshicare@n-souken.co.jp FAX: 0265-82-5177 TEL: 0265-82-3600

※注意事項※

キャンセルをご希望の場合には、6/13 日(金)までにお知らせください。返金事務手数料として、1,000 円のキャンセル料が発生致します。
6/14 日(土)以降は、参加費の 100% (5,000 円) のキャンセル料が発生致しますので、何卒、ご了承ください。